

3人4脚



H 31. 1/11(金) 第10号

二宮西中学校学校だより

発行者: 和田 智司

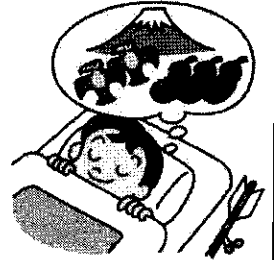
「平成30年を超える自分になるんだ」

今年もよろしくお願いします!!

～自分の目標や課題をしっかりともち、夢に向かって努力を続けて欲しい～

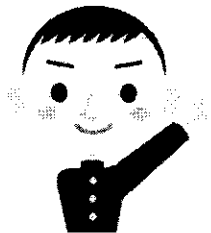
新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。冬休みの間、子ども達は幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭でのきめ細かなご指導に感謝いたします。

さて、みなさま新年をどのように迎えられたでしょうか。初夢はご覧になったでしょうか。今年一年、皆様、そしてお子さんはどんな夢や目標をもたれたでしょうか。3月の終業式・卒業式まで約2カ月となりました。一年のまとめをしっかりと行い、来るべき次年度の備えをするときです。夢や目標の実現に向かってこつこつと努力を続けることが大切だと思います。



3学期もすでに4日が過ぎました。1/8の3学期の始業式に臨む子ども達の立派な態度から、「平成30年を超える自分になるんだ」という強い決意を感じました。本校教職員も子ども達に負けまいと気持ちを新たにしましたところ。

子ども達には、身近で小さなことでも良いので、自分の目標や課題をしっかりともち、夢に向かって努力を続けて欲しいと思います。しかし、なかなか努力しても目に見えるような成果として現れないときもあるでしょう。いやになってやめてしまおうと思うときがあるかもしれません。焦らず、あきらめずにこつこつと続ける大切さを中学生の時に実感して欲しいと願っています。



教職員も一致団結して頑張りますので、保護者・地域の皆様も、お子様を温かく見守っていただき、人生の良きアドバイザーとしてお子様を応援していただけたらありがたいです。今年もよろしくお願いいたします。

これまでにない素晴らしいものにできるようお互いに頑張りましょう!!

～ 3学期始業式 学校長の話より [平成31年1月8日] ～

あらためまして、みなさんあけましておめでとうございます。17日間の冬休みが終わり、3学期の始業式を迎えました。今年の冬休みは、みなさんにとってどんな冬休みだったでしょうか。「平成最後の」という言葉がニュースからよく流れてきました。そんな平成もあと4カ月を切ってしまいました。

以前3学期を次のように表現した先生がいます。それは、「いちがつはいつてしまう月」、「にがつはにげてしまう月」、「さんがつはさってしまう月」です。それほど3学期は短く感じる学期です。・・・私からは2つの話をします。

1つは、本当の学びは「テストのための暗記」つまり知識の蓄積だけではなく、技能の習得、思考力・判断力・表現力、さらには学びに向かう力・人間性等も含んでいるということです。みなさんは、この樹木の名前がわかりますか?・・・この樹木は本校の体育館の周りに14本あります。・・・「クロガネモチ」という樹木で、「苦労が無く金持ち」に通じるネーミングから大変縁起の良い木と言われています。



11月末から赤い実をつけ始めていましたが、花の少ない冬の時期にツグミやムクドリなどの野鳥が好んで食べています。実は昨日、この実を実際に口に入れてみましたが、苦くておいしいとは言えませんでした。この木は、二宮町の町制50周年を記念して植樹されたようです。・・・その中に、一本だけ黄色い実を付けるものが、体育館西側にあります。これは、実が黄色いことから、「キミノクロガネモチ」と言います。大変珍しい品種で、先ほどお伝えした植樹の後、一本が枯れてしまい、新しく植えられたものです。

みなさんの多くがこの「クロガネモチ」の下を通して登下校をしています。私たちが普段何気なく目にしているものから、多くのことを学ぶことができます。3年生にとっては、入試が近づいてそれどころではない、と思うかもしれませんが、単なる知識の詰め込みではなく、興味をもって学びに積極的に向かう姿勢が理解力の向上に繋がります。私自身この「クロガネモチ」を通して、多くのことを学ぶことができました。みなさんも、「本当の学び」をめざして欲しいと思います。

2つめは、新しい年の始まりにあたり自分の目標をしっかりと立てて欲しいということです。

この色紙に書かれている「初心」は、私の同級生である神奈川県警宮崎正裕先生に書いていただいたものです。宮崎先生は、平成2年の全日本剣道選手権、初出場、初優勝、翌年には史上初の連覇を成し遂げました。今まで神奈川県代表として、11年連続して出場し、剣道日本一に6回（準優勝2回）輝くという偉業をうち立てています。

「平成の剣豪」と言われている方ですが、初めて剣道日本一になったとき、自分の防具をなでながら、「ありがとう。おかげさまで日本一になれたよ。」と防具にお礼を言ったそうです。・・・初めて竹刀を握ったときの気持ち、初めて防具を付けたときの気持ちを決して忘れてはならないと言っていました。

私自身、この言葉のとおり「初心」を忘れることなく、生徒の皆さん、そして先生方と共に、教師として少しでも成長し、より良い二宮西中学校を創っていきたいと思っています。平成30年度の残りの3か月を、これまでにない素晴らしいものにできるようお互いに頑張りましょう。

読売新聞朝刊より 【上: H30.12.18 (火) / 下: H30.12.21 (金)】



先生の手紙 転校も平気

中学生 笠原 美優 14
(東京都世田谷区)

夏休みに引っ越した私は、初めて転校した。新しい教科書、今までと違う給食、着慣れない制服の自分は、なんだかさみし

かった。そんな時、前の学校の先生からもらった手紙を思い出した。その手紙には「友達は何倍になる」と書いてあった。読み直して、ずっともやもやしていた気持ちが消えた気がした。

この手紙がなかったら、私は前に進めなかっただろう。転校はつらかったけれど、2倍に友達が増えて、私は毎日誰よりも笑えているのではないかな。先生に感謝の気持ちを伝えたい。

※笠原美優さんは、
昨年の1学期まで本校に在籍し、夏休み中に転校しました。

新聞@スクール

取材や記事作成 コツ学ぶ

二宮西中で出前授業



新聞記事の模倣作成に挑戦する生徒たち(14日、二宮町立二宮西中学校で)

二宮町立二宮西中学校で14日、読売新聞記者による出前授業があり、1年生の生徒約100人が、新聞記者の取材の仕方や記事の書き方について学んだ。

同校では1年生の「総合的な学習の時間」で、地元の観光、歴史などについて自ら取材し、散策のモデルコースとしてまとめている。発表する「地域調査」を年度内に予定している。出前授業は、それに向けた準備として企画された。

講師を務めた横田博行・横浜支局長は「人の話は、何・だれ・いつ・どこ・なぜ・どんな(どんな)ように(どのくらい)の六つの要素から成る。取材では、これらの要素に注意しながら質問を重ねる」「これが大事だ、と思う要素ほど先に書く」と説明。生徒たちは、まちおこしイベントを企画している住民グループを想定し、その活動を紹介する記事を模倣的に書いてみる作業にも取り組んだ。担当の真田喜代美教諭は「言葉で表現することや、言葉の持つ力に、生徒たちが少しでも触れてくれたらと考えていた。文章のまとめ方など、今後の活動にとっても参考になった」などと振り返った。

祝!! 田中勇貴先生…バレーボール日本一に輝く!!

田中勇貴先生の所属しているチームが昨年の11月に東京の江戸川区総合体育館で開催された第67回全国青年大会男子バレーボール大会にて見事優勝され、クラブチーム日本一に輝きました。・・・おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。